

IEEJエネルギーウェビナー

2021年9月3日

最新アフガニスタン情勢と エネルギー地政学

JIME-IEEJ
JAPAN

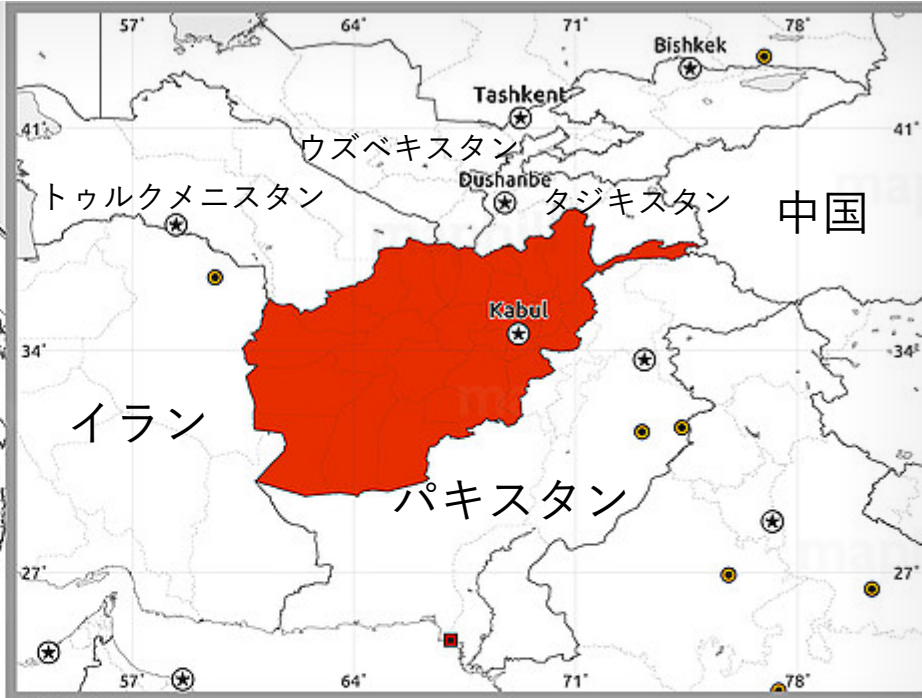
一般財団法人
日本エネルギー経済研究所
中東研究センター

理事・センター長

保坂修司

hosaka@jime.iee.or.jp

アフガニスタン



面積：652,225km²
人口：3890万人（2020年）
首都：カーブル
公用語：パシュトー語、ダリー語

歴史

英・露がアフガニスタンをめぐる抗争（＝グレートゲーム）

1919年英国保護領から独立

1926年アフガニスタン王国

1973年アフガニスタン共和国成立

1978年アフガニスタン民主共和国

ムジャーヒディーン蜂起で1979年、ソ連軍が侵攻

1989年ソ連軍撤退

1996年ターリバーンが全土掌握、アフガニスタン・イスラーム・アミール国

2001年9.11事件を契機に米軍等が攻撃

2002年アフガニスタンイスラーム共和国成立。

アフガニスタン

- 複雑な民族構成
 - 民族：**パシュトゥーン人**（アフガン人（パシュトー語）全体の約40%）、**タジク人**（ダリー語、全体の約25%）、**ハザーラ人**（トルコ・モンゴル系？（ダリー語）全体の約10%）、**ウズベク人**（トルコ系（ウズベク語）、10%弱）等、さらにその下に部族も。
 - 宗教：イスラーム（スンナ派が多数、ハザーラ人はシーア派）、パシュトゥーンワリー（部族の掟）
- 国境を接する6つの国
 - パキスタン（多くのパシュトゥーン人人口）：軍情報部ISIのアフガニスタン干渉、インドとの対立
 - イラン：ダリー語はペルシア語、シーア派のハザーラ人
 - 中国：ウイグル問題（東トルキスタン・イスラーム運動、トルキスタン・イスラーム党）
 - タジキスタン、ウズベキスタン、トゥルクメニスタン：アフガニスタン国内に同民族、反体制組織のセーフヘイブン
- その他のプレーヤー
 - 米国、NATO
 - トルコ
 - ロシア
 - カタル、UAE、サウジアラビア
 - アルカイダ
 - イスラーム国ISホラーサーン県

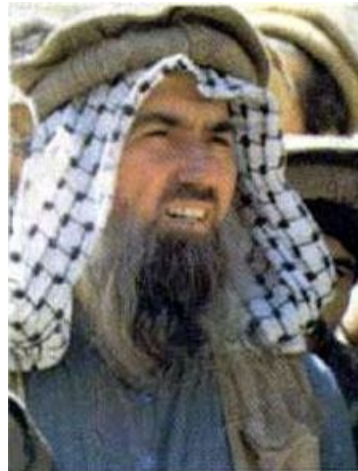
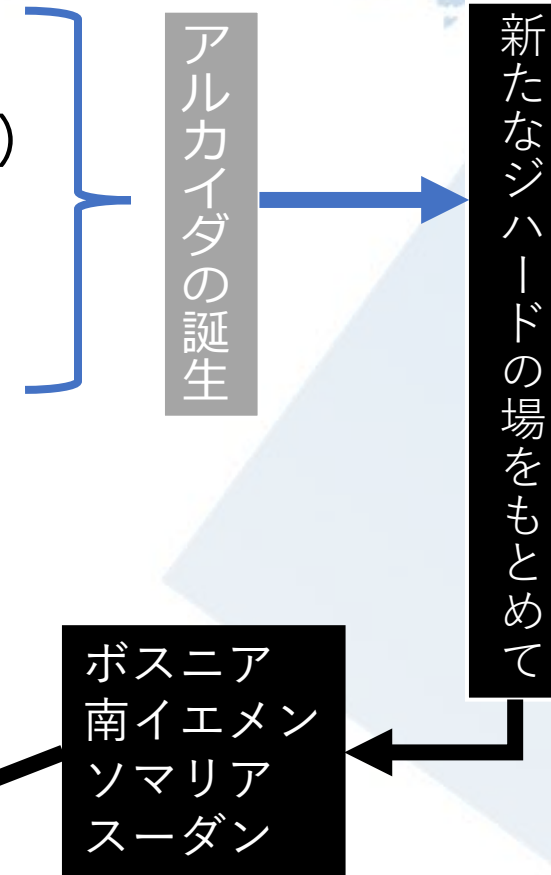
アルカイダの誕生

1979年

イラン・イスラーム革命
マッカ占拠事件

1979～1989 ソ連のアフガニスタン侵攻

- ソ連軍を駆逐するためアラブ諸国を中心に世界中からムジャーヒディーンがアフガニスタンに参集
 - **アラブ・アフガン al-Afghān al-‘Arab**
- アラブ諸国の多くはムジャーヒディーンを経済的・宗教的に支援
- アブダッラー・アッザーム (1989没) 「防衛ジハード」論 = (理論的基盤)
 - 『ムスリムの地の防衛—信仰につぐ義務』、奉仕事務所
- ムジャーヒディーンが超大国に勝利 = (成功体験)
- アラブ・アフガンの戦後 = (英雄のはずが、実はやっかいもの)



ターリバーンの庇護下に

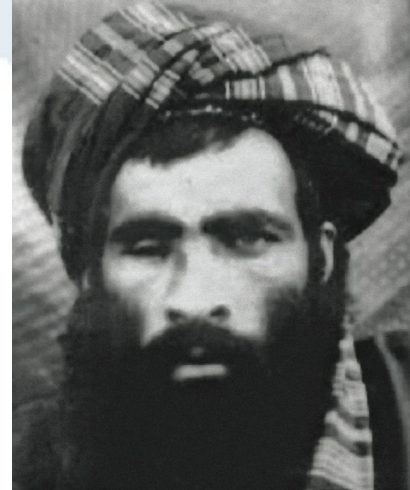
ユニス・ハリスとジャラールッディーン・ハッカーニーがアルカイダを受け入れ

結局アフガニスタンへ

ボスニア
南イエメン
ソマリア
スーダン

9.11

- 1989年 ソ連軍のアフガニスタン撤退
- 1990年 イラクのクウェート侵攻（湾岸危機） ⇒ 米軍がサウジアラビアに駐留
- 1996年 ターリバーンが首都カーブル制圧、アフガニスタン・イスラーム・アミール国樹立
- 1996年 アルカイダがスーダンからアフガニスタンに帰還 = 客人としてターリバーンの庇護下に
- 2001年3月 ターリバーンがバーミヤーンの大仏を爆破
- 2001年9月11日 米国同時多発テロ
- 2001年10月 米軍を中心とする有志連合がアフガニスタン攻撃を開始
- ターリバーン政権崩壊。米軍等の支援でアフガニスタン・イスラーム共和国成立。
- 2003年 イラク戦争
- 2011年 米軍がパキスタンに潜伏していたオサーマ・ビン・ラーデンを殺害、ザワーヒリーが後継者に
- 2013年6月 カタルにターリバーンが事務所開設、2016年1月からドーハ対話開始
- 2014年 「イスラーム国」(IS) が誕生、カリフ制を宣言、2015年 イスラーム国ホラーサン県が登場



ターリバーンのイスラーム
ハナフィー派（法学）
デオバンド学派
マートルーディー学派（神学）
スーフィズム

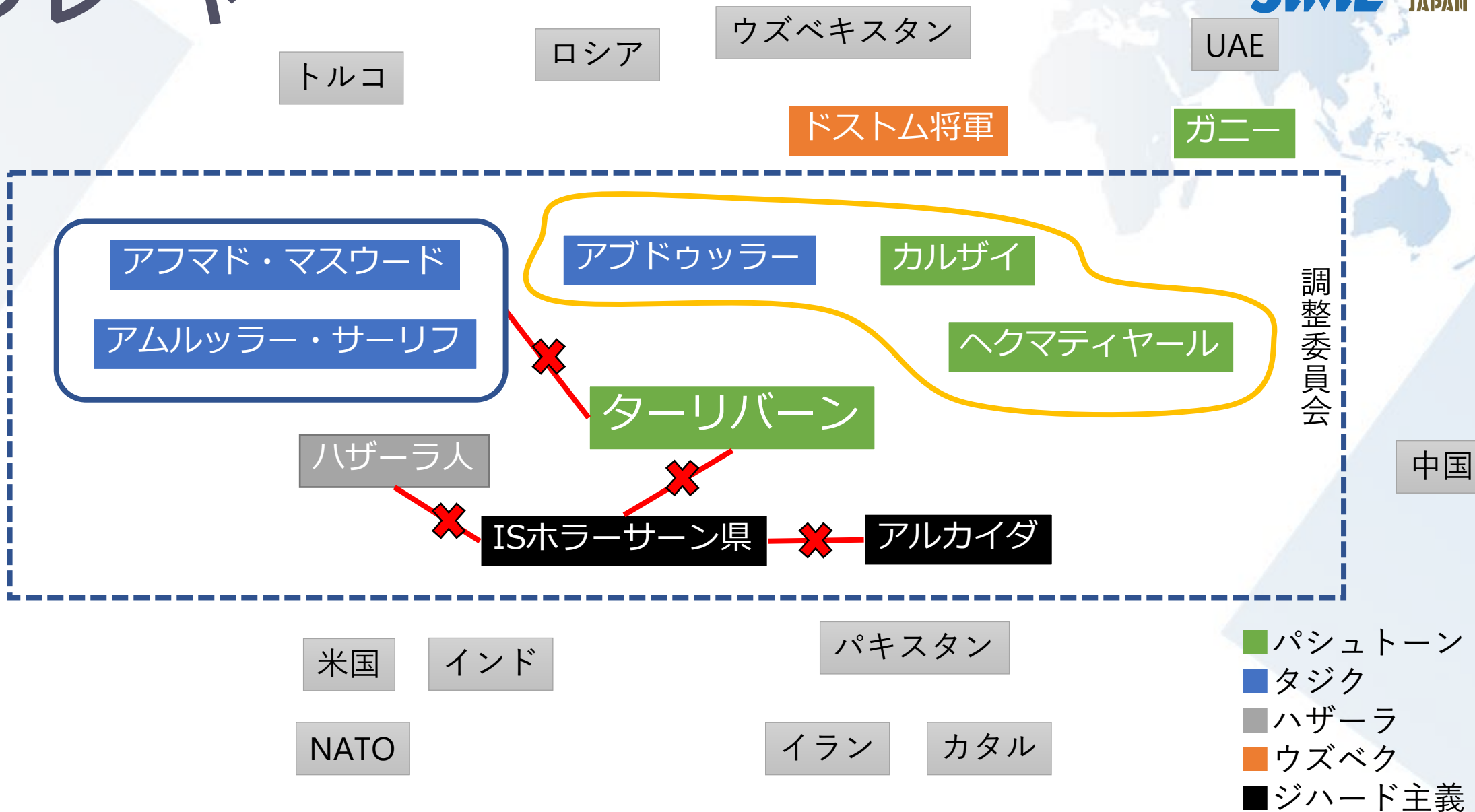
ターリバーンの復活

- 2018年12月 ターリバーン司令官発言：ターリバーンには2000～3000人の外国人戦闘員（NBC）
 - 多くは中国、タジキスタン、ウズベキスタン、チエチエン、チュニジア、イエメン、サウジアラビア、イラクから
 - 庇護を与えるのはムスリムとして当然。ただし、外国人戦闘員が武器をとり、アフガニスタンからいかなる国を攻撃することも許さない。
- 2020年2月 米国とターリバーンで和平合意
 - ターリバーンはアルカイダとの関係を断絶
 - = ターリバーンは米国やその同盟国に対する攻撃で誰にもアフガニスタンの地を利用させないと主張 = 断絶とはいっていない。
 - アフガニスタン政府を含む和平協議に参加
 - 米軍撤退
- 2021年8月15日 ターリバーンがカーブル入城、アシュラフ・ガニー大統領はUAEに逃亡
 - ザワーヒリー率いるアルカイダ中枢はいぜんとしてターリバーン勝利について発言せず（8月30日まで）
 - ただし、AQAP等アルカイダの支部や関連組織は声明を発出、ターリバーンの勝利を祝福
 - 刑務所の解放（捕らえられていたアルカイダ戦闘員らが野に放たれる）
 - 一方、もともと敵対していたISホラーサーン県は、ターリバーンの勝利を批判的に論評
 - 日本を含め、多くの国が在カーブル大使館をカタールの首都ドーハに移転

主なプレイヤー

□ □ □

武力衝突は発生するか？
ターリバーンは約束を守るか？
新政府はアフガニスタン全体を代表できるか？



新政権に向けて

- 信徒の統率者：ヒバトゥラー・アフンドザーダ・サーヒブ = 最高指導者
- アフガニスタン中央銀行総裁代行：ハージー・ムハンマド・イドリース
- 財務相：グル・アーガー？
- 諜報長官：ナジーブッラー？
- 内相代行：サドル・イブラーヒーム？
- 高等教育相代行：アブドゥルバーキー・ハッカーニー
- カーブル州知事：ムッラー・シーリーン？
- カーブル市長：ハムドゥッラー・ヌアマーニー？
- 12人からなる統治評議会？（ムッラー・アブドゥルガニー・バラール、ムッラー・ムハンマド・ヤアクーブ、ハリール・ハッカーニー、アフマド・マスウード…）

ターリバーンは変わったのか？

- 国庫、公的施設、政府機関、政府機関に関する装備、公園、道路、橋に最大限の注意を払う。
- **住民の生命、財産、尊厳も傷つけることなく、移行プロセスが安全に履行されるよう、交渉。**
- 全部隊にカーブルの門でとどまり、市内に入らないよう指示（ただし、のち治安維持のために入城を指示）。
- 移行プロセス完了まで、カーブルの治安は、相手がたに委ねられる。
- **カーブル政府の軍民部門で勤務していたものはすべて許され、安全であり、誰も報復されることはない。全員、国内にとどまり、自分の場所、自宅にいて、出国しようとするべきでない。**
- 銀行のオーナー、商人、両替商、商店主に自信をもって、あなたがたのお金や富は安全であり、被害を受けることないと約束。
- シーア派のモスクや宗教施設に対して攻撃しないよう指示。
- **学生や教育機関で働くものたちに対し心配したり、恐れたり、否定的に考える必要はない。男女の教育活動は、妨害も遅延もなく、継続し、すべての職員・教員も業務を履行しなければならない。**
- **誰でもシャリーアの枠内で働くことができる。**
- アフガニスタンの文化的枠組のなかでメディアも独立して自由に活動ができるようにする。
- **アフガニスタン**を麻薬のない国にするが、国際社会の協力が必要。
- 外国人戦闘員が誰かを傷つけるためにアフガニスタンの地を利用することは許されない。
- **欧米型民主主義は取らないが、すべての人びとの権利を守る。**

- 1996年のターリバーン政権を承認したのは、パキスタン、サウジアラビア、UAEのみ
 - サウジアラビアは慎重な姿勢、ただし、安定し、テロ組織を封じ込められるアフガニстанは望むところ。トウルキー・フェイスル元総合諜報局長官の役割（9.11直前までターリバーン等と太いパイプ）
 - アシュラフ・ガニーを受け入れたUAE、カード？
- 今回のアフガニстанの勝者は、カタル、ロシア、中国、パキスタン、トルコ、イランという見かた
 - カタルはターリバーンと米軍・アフガニстан政府との和平交渉の舞台を提供、ターリバーンの事務所をホスト
 - トルコはカタルと協力しながら、カーブル空港の警備・運営を目指す。ターリバーン承認？
 - ロシア・中国はターリバーンと密接な協議、テロ組織を封じ込める、あるいは送還することで合意？
 - 中国はターリバーンに圧力をかけすぎないように呼びかける。
 - イランはアフガニстанに燃料支援など、通商関係を再開。アルカイダとの関係。
- イラクからの米軍撤退
 - 2011年に米軍が撤退、その結果ISが躍進。2021年末にも残留部隊撤退。
 - 現状のイラクは新型コロナウイルス感染拡大や燃料不足等で混乱のさなか。
- 日本は？
 - アフガニстан在留邦人・日本関連機関で働いていたアフガニстан人救援のため自衛隊機を派遣

ターリバーンはアルカイダと絶縁したのか？

- 外国人戦闘員が誰かを傷つけるためにアフガニスタンの地を利用することは許されない。
 - 「米国によって国家承認されておらず、ターリバーンとして知られるアフガニスタン・イスラーム・アミール国は、そのメンバーやアルカイダを含む、いかなる個人、グループが米国およびその同盟国の安全保障を脅かすためにアフガニスタンの地を利用することを許さない。ターリバーンは、米国およびその同盟国脅威を与えるものに対し、アフガニスタンには（彼らの）居場所はないという明確なメッセージを送り、ターリバーンのメンバーに、米国およびその同盟国の安全保障上脅威となるグループや個人と協力しないよう指示する。」2020年ドーハ合意
 - 関係断絶の言葉は使われていない。
- ターリバーンとアルカイダの関係は今も継続？
- ウズベキスタン・イスラーム運動、イマーム・ブハーリー部隊、トルキスタン・イスラーム党との関係？

ターリバーンの勝利を祝福する声明

シャバーブ（8月17日）、アラビア半島アルカイダAQAP（8月18日）、シャーム解放委員会声明（8月18日）、インド亜大陸のアルカイダAQIS（8月19日）、イスラーム・マグリブ諸国アルカイダAQIM・イスラームとムスリムの支援団 JNIM（8月23日？）

ハマース（8月16日）、マラーヒム電子軍・アルカイダの声等5団体（8月16日）、イラク・イランのクルディスタン旅団（8月16日）、エルサレムのウンマ軍（8月16日）、トルキスタン・イスラーム党（8月17日）、サバート通信（8月17日）、世界イスラーム・メディア戦線（8月23日）

アルカイダ中枢がターリバーン祝福声明 (8月31日)

2

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ - القِيَامَةُ العَالَمِيَّة

Congratulations to the Islamic Ummah on the victory granted by Allah in Afghanistan!

Allah, the Glorious, says, "Allah has promised those among you who believe and do righteous deeds that He will certainly grant them succession in the land, as He granted it to those before them, and that He will grant them the authority to practice the Religion that He has chosen for them, and He will surely give them in exchange a safe security after their fear, provided they worship Me and do not associate any partners with Me. And whoever disbelieves after this, they are verily the rebellious ones."

So our dear Ummah! It is time for you to prepare for the next stage of the struggle, the way for which has been paved by the victory of the defiant Afghan nation. With the help of Allah, this historic victory will open the way for the Muslim masses to achieve liberation from the despotic rule of tyrants who have been imposed by the West on the Islamic World. God willing, the victory of the Muslim Ummah in Afghanistan shall prove to be a prelude to the liberation of Palestine from Zionist occupation. America and NATO's Afghan debacle marks the beginning of the end of the dark era of Western hegemony and military occupation of Islamic lands. It is worth mentioning here that these historic events offer an opportunity for the masses in Europe and East Asia to break free from the shackles of American hegemony.

To conclude, we call upon the Afghan nation that has demonstrated its loyalty to its Religion and its Ummah to unite around the blessed leadership of the Islamic Emirate- a leadership that has over the years proved its sincerity and keenness to safeguard the interests of the masses and protect their Religion, lives, and wealth. We call upon the Afghan nation to abide by the decisions and Shariah-based policies of the blessed Islamic Emirate. Allah (swt) says, "O you who believe! Obey Allah and His Messenger and those among you who have been entrusted with authority." We call upon the Islamic Ummah in its entirety to stand by the honourable Afghan nation and to extend its total support to the Islamic Emirate in all fields, specifically at this critical juncture in which all forces of disbelief have set their eyes upon this Islamic nation that takes immense pride in its Religion.

O' Allah! Just as You helped Your slaves in the Islamic Emirate to overcome their enemies, help them in establishing the law of Your Shariah in Afghanistan and protecting the interests of Islam and Muslims. O' Allah! With Your infinite mercy, make them self-sufficient and self-reliant. O' Allah! Just as you have liberated Afghanistan from the American occupation, liberate Palestine from Zionist occupation and the Islamic Maghreb from French occupation. ... O' Allah! Liberate the Levant, Somalia, Yemen, Kashmir and the rest of the Islamic lands from the clutches of the enemies of Islam. O' Allah! Grant freedom to Muslim prisoners across the world. O' Allah! Bless the souls of the martyrs of the Ummah who paved the way for this victory with their pure blood and untiring efforts. May Allah guide the Mujahideen of the Islamic Emirate of Afghanistan to continue on this blessed path so that Muslim masses get to live a life of peace and prosperity under the merciful shade of the Shariah, Ameen! And our last prayer is that all praise belongs to Allah, the Lord of the Worlds!



Muharram 1443 August 31 2021

1

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ - القِيَامَةُ العَالَمِيَّة

Congratulations to the Islamic Ummah on the victory granted by Allah in Afghanistan!

In the Name of Allah, the Most Beneficent, the Most Merciful All praise belongs to Allah who fulfilled His promise, gave victory to His servants, and defeated the allies with His power alone. Praise be to the One who soothed our hearts with the recitation of the verses of the Noble Quran from the Presidential Palace in Kabul, after it had been cleansed from the filth of the Americans. Allah, the Glorious, says in His Book, "And those who, when empowered by Us in the land, establish prayers, offer zakat, order virtue and prohibit evil. And with Allah rests the end of all matters." And may peace and blessings be upon our master, Muhammad, his family, and all his Companions.

We praise the Almighty, the Omnipotent, who humiliated and defeated America, the head of disbelief. We praise Him for breaking America's back, tarnishing its global reputation and expelling it, disgraced and humiliated, from the Islamic land of Afghanistan. We congratulate the Islamic Ummah on this historic victory that has been achieved at the hands of the resolute Afghan nation- a symbol of resilience and resistance against invading imperialist powers. Afghanistan is undoubtedly a graveyard of empires and an impregnable fortress of Islam. With the defeat of the Americans, this is the third time that the Afghan nation, within a span of less than two centuries, has successfully defeated and expelled an invading imperialist power. The defeat of the American Empire of Evil is surely a sign of Allah in this age and a tremendous source of inspiration for the oppressed of the world.

In this path of Jihad and resistance, the Afghan nation has recorded historic feats and offered invaluable sacrifices over the course of several decades. Generation after generation stood firm in its resolve to confront Western invaders, refusing to bow down in the face of Western tyranny or abandon the way of Jihad and martyrdom. So may Allah reward the Afghan nation greatly on behalf of the entire Islamic Ummah! We congratulate you on this great victory against the Crusader alliance. On this historic occasion, we would like to offer our congratulations to the leadership of the Islamic Emirate, specifically to the Leader of the Believers, Shaykh ul Hadeeth, Hibbatullah Akhundzada, May Allah protect him!

May Allah accept your martyrs- the men, women and children who offered sacrifices in this path! May Allah have mercy upon the Leader of the Believers, Mullah Muhammad Umar, who stood firm and took on the entire world with his unwavering faith in Allah. With firm trust in Allah's promise of victory, he made his famous statement, the echo of which can be heard today, loud and clear, all across Afghanistan, indeed all across the Islamic World: "Allah has promised us victory, and Bush has promised us defeat; we shall see which of the two promises shall be fulfilled!" May Allah bless the soul of the Leader of the Believers, the defiant, uncompromising leader, Mullah Akhtar Mansour! May Allah have mercy on the mentor of the Mujahideen, the father of martyrs, Shaykh Jalal ud Din al Haqqani!

Our Islamic nation! This victory has demonstrated what the Islamic nation is capable of when it unites, takes up arms and fights in the Way of Allah to defend its Religion, its sanctities, its lands and wealth. These events prove that the Way of Jihad is the only way that leads to victory and empowerment. No matter how well-equipped, numerically superior, hegemonic and brutal the enemy might be, it shall never be able to stand the test of time in the face of a nation that strongly holds on to the Book of Allah, follows the Sunnah of His Messenger (pbuh) and his Companions by fighting against the disbelievers and the hypocrites, and strives to establish the Shariah of Allah.

2

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ - القِيَامَةُ العَالَمِيَّة

تهنئة الأمة الإسلامية على نصر الله في أفغانستان الأبية

فيا أمنا العزيزة، عليك بالاستعداد للمرحلة المقبلة التي أُن لها هذا الانتصار الإسلامي على يد الأمة الأفغانية الأبية والذي له ما بعده، والذي سيفسح الطريق بعون الله وقوته لشعبونا المسلمة لتحرر من حكم الطواغيت الجبري الجائم على صدرها، ولتحرير فلسطين المسلمة من الاحتلال الصهيوني، لا سيما وأن تمرير أف أمريكا والناتو في أحوال أفغانستان قد أنهى عصر الفطرة الأمريكية والأوروبية وأطماعهم في الاحتلال العسكري للبلدان المسلمة، ووفر فرصة حتى لشعوب أوروبا ودول شرق آسيا للتخلص من الهيمنة الأمريكية.

وفي الختام فإننا ندعو الشعب الأفغاني الوفي لدينه وأمته إلى الالتفاف حول قيادته المباركة في الإمارة الإسلامية والتي أثبتت صدقها وحرصها على مصالح الشعب ودينه ودمائه وأمواله، وإلى الالتزام بما يصدر عنها من قرارات وعهود وسياسات شرعية وعدم الفتنات عليها، يقول الله عز وجل: ﴿ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا أَلِيقُوا اللَّهَ بِغُلَامٍ الْآخَرِ مَكَرًا ﴾ كما ندعو أمة الإسلام جميعا إلى الوقوف مع الشعب الأفغاني وإمداده بالخبرات والكفاءات والأموال ودعمه في شتى الميادين لا سيما في هذه المرحلة الحساسة التي تتكاتف فيها أمم الكفر ضد هذا الشعب المسلم الأبي الممتز بدينه.

اللهم كما نصرت عبادك في الإمارة الإسلامية في جهادهم وأخزيت أعداءهم، فانصرهم ووفقمه لتحكيم شرعك في أفغانستان، وأعنه على القيام بمصالح الإسلام والمسلمين، وأعنه اللهم بفضلك وبرزقك عن سوك، اللهم وكما حررت أفغانستان من الاحتلال الأمريكي وحلفائه فحرر اللهم فلسطين من براثن الصهاينة ومغرب الإسلام من الاحتلال الفرنسي وحلفائه وبلاد الشام والصومال واليمن وكشمير وباقى بلاد الإسلام ممن تملأ عليها من الأعداء، اللهم فك أسرى المسلمين في كل مكان، اللهم ارحم شهداء الأمة الذين رووا هذا النصر بدمائهم وجهودهم، ووفق اللهم مجاهدي الأمة الإسلامية للسير على دريهم حتى تنعم الشعوب المسلمة بالعيش تحت ظل الشريعة الإسلامية، والحمد لله رب العالمين.

محرر 1443 هـ أغسطس 2021 م



1

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ - القِيَامَةُ العَالَمِيَّة

تهنئة الأمة الإسلامية على نصر الله في أفغانستان الأبية

الحمد لله الذي صدق وعده، ونصر عبده، وهزم الأحزاب وحده، الذي طيب مسامعنا بتلاوة القرآن من قصور كابل بعد أن تطهرت من رجس الأمريكيين وأعوانهم، القائل في كتابه: ﴿ أَيُّوبَ إِذِ نَادَىٰ فِي الظُّلُمَاتِ أَنَا سَلَامٌ رَبَّنَا اصْرِفْ عَنَّا الظُّلُمَاتِ إِنَّهُنَّ أَكْثَرُ عَلَيَّ ﴾ والصلاة والسلام على سيدنا محمد وعلى آله وصحبه أجمعين، أما بعد:

فحمد العظيم الجبار الذي أدل رأس الكفر أمريكا وهزمها وقسم ظهرها ونكس راياتها وأجرها على مرأى العالم أجمع خاتبة ذليلة صاغرة من أرض أفغانستان المسلمة، فهنيئا لك أمة الإسلام بهذا النصر التاريخي، الذي كتبه الله عز وجل على أيدي الأمة الأفغانية المجاهدة الصابرة، تلك الأمة التي ناجزت الإمبراطوريات الغازية حتى أجلتهم جميعا عن ديار المسلمين فكانت حقا قلعة الإسلام الحصينة، وقدمت في سبيل هذا العديد من البطولات والتضحيات من أنفسهم وأموالهم ودمائهم وأعمارهم وفلذات أكبادهم على مدى عقود طويلة من الحروب المستمرة التي خاضتها جيلا بعد جيل لم تعرف خلالها الاستسلام ولا الانحناء ولا التخلي عن طريق الجهاد والاستشهاد، فجزاك الله يا أمة الأفغان خير الجزاء عن أمك أمة الإسلام، وهنئلك بنصرك العظيم على التحالف الصليبي وبنارك لقيادتك في الإمارة الإسلامية وعلى رأسهم أمير المؤمنين شيخ الحديث هبة الله أخذ زده - حفظه الله ووعاه-، ونسأل الله أن يرحم شهداءك من الرجال والنساء ويتقبلهم، وعلى رأسهم أمير المؤمنين الملا محمد عمر الذي وقف بإيمانه الراسخ وتوكله على الله سبحانه وتعالى وثقته بوعده يقول تلك الكلمة التي ستبقى مدوية في التاريخ: «لقد وعدنا الله بالنصر، وتوعدنا بوش بالهزيمة، فسئلى أي الوعدين سيحقق؟» ورحم الله أمير المؤمنين الجبل الأشم الملا أختر منصور، وشيخ المجاهدين أبا الشهداء وأسر الجهاد جلال الدين حقاني.

أمنا المسلمة، لقد أثبت لك هذا الانتصار قوة الأمة المسلمة حينما تحدد وتحمل السلاح وتجاهد في سبيل الذود عن دينها وعرضها وأرضها ومالها، كما أثبت لك أن طريق الجهاد هو الطريق الذي خاتمه النصر والتمكين في الأرض، وأن العدو مهما بلغت أعداده وعدته وتحالفاته وطغيانه وجبروته فلن يصمد أمام جهاد الأمة المستمسة بكتاب ربها، والمقتدية بهدي نبينا محمد -صلى الله عليه وسلم- وصحابته الكرام في جهادها للكفار والمنافقين، الرامية لتحكيم شريعة الإسلام في الأرض، ﴿ وَنَدَّ اللَّهُ الَّذِينَ آمَنُوا مِنكُمْ وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ لَيَسْتَخْلِفَنَّهُمْ فِي الْأَرْضِ كَمَا اسْتَخْلَفَ الَّذِينَ مِن قَبْلِهِمْ وَلَيُمَكِّنَنَّ لَهُمْ دِينَهُمُ الَّذِي ارْتَضَىٰ لَهُمْ وَلَيُبَدِّلَنَّهُم مِّن بَدْوٍ حَنُوفًا أُمَّةً يَرْضَىٰ لِي خَيْرًا مِّن ذَلِكُمْ فَكَانَ كَلِمَةً كُرْهِهَا الْكَافِرُونَ ﴾ .

アルカイダは米軍のアフغانستانからの撤退を見計らったかのように、ターリバーンを賞讃する声明

イスラームの勝利はムスリムの国々を軍事占領する米国と欧州の高慢と野心の時代を終わらせた。さらに、欧州や東アジア諸国の国民にとっては、米国の支配から自由になる機会が増加する。

8月31日、ターリバーンはアラビア語月刊誌スムードの最新号を公開。
 ただし、公式ウェブページはダウンしたまま（パシュトー語、ダリー語、ウルドゥー語、英語、アラビア語）

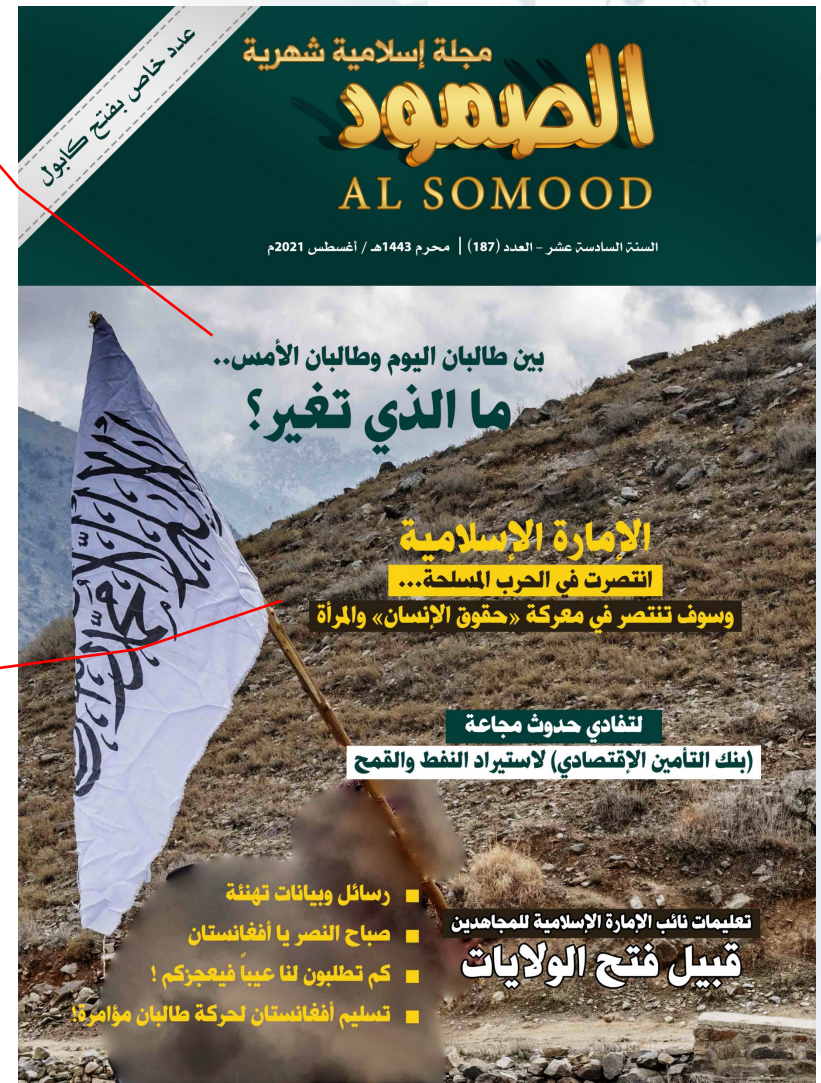


今日のターリバーンと
 昨日のターリバーン：
 何が変わったのか？

ターリバーンが間違っ
 た方向に変わったというIS
 の批判に反論。ターリ
 バーンは変わっていない。

アフガニスタン・アミール
 国は武装戦争に勝利し、
 人権と女性の戦いにも勝
 利する

ムスタファー・ハーミド：
 アルカイダの幹部？



أمصطفى حامد (بوالوليد المصري)

■ علامة الانتصار الكامل في الحرب هي تحطيم جيش العدو ودخول عاصمته، وهذا جرفياً ما حدث في أفغانستان.

■ حتى عند دخول قوات الإمارة الإسلامية إلى القصر الجمهوري، كانت أمريكا تحاول الفوز من لحظة الهزيمة إلى حالة الانتصار السياسي الكامل بمجرد التلاعب في تشخيص المشهد.

■ (لاحكم للشريعة الإسلامية)، هكذا يقولونها الآن وكل وضوح ويهددون الإمارة الإسلامية إن هي فعلت بكمية عقوبات دولية تكفي لتشلها وافشال تجربتها في حكم أفغانستان.

■ التي يسمع ذلك يظن أن الجيوش الأمريكية بأسلحتها الفتاكة جاءت للنهوض بالشعب الأفغاني ونقله إلى الرفاهية، ولم تأت في مهمة وصفها زعيمها بوش بأنها حرب صليبية.

■ اعتمد الاحتلال منذ لحظة الأولى وحتى الدقائق الأخيرة على جعل السكان هدفاً أساسياً للحرب، بتدميرهم مادياً وحسبياً ومعنوياً حتى يتخلوا عن المجاهدين.

■ رغم المئتين مليار دولار التي تدعي أمريكا إنفاقها في أفغانستان فإن حياة الأفغان زادت تدهوراً باستمرار، وانتشرت البطالة بين الشباب.

■ عن استغلال مخابرات الاحتلال الأمريكي للنساء في شبكات الجنس والتجسس، فإن ملفات تفصيلية بالأسماء والأماكن متوفرة. وربما تشر عند الضرورة. لإظهار جرائم الاحتلال في حق المرأة، ونفاقه الفاجر باتهام طالبان والشريعة الإسلامية بالتعدي على حقوق المرأة.

■ (تكتيك الدفاع في المناورة السياسية، والهجوم في المجال العسكري)، كان هو أسلوب الإمارة في إدارة معركتها السياسية والدعائية ضد أمريكا وتحالفها الدولي.

■ تخشى أمريكا من أن تُركّز الإمارة الإسلامية مجهودها على بناء مجتمع مسلح بالعلم الديني والديني، ومتحرر من الخوف والفقر. مجتمع تسوده العدالة والمساواة. يستخدم ثروات بلاده الهائلة لبناء الضرد القوي والمجتمع الصحيح، والدولة العزيرة بدينها القويّ تشعبها.

イスラーム国ホラーサーン県 al-Dawla al-Islāmīya – Wilāya Khurāsān Islamic State – Khorasan Province (ISKP)

2015年、ISのカリフ、バグダーディーに忠誠を誓う。
アフガニスタン国内ではアフガニスタン政府や米軍のみならず、シーア派やターリバーンも攻撃対象。
また、これまでアフガニスタン国内のみならず、カシミール、パキスタン、イランでの事件でも犯行声明。

ولاية خراسان 3 شوال 1439 هـ

الهجوم على حاجز للجيش الهندي في كشمير

بفضل الله وحده، هاجم عددٌ من جنود الخلافة يوم أمس بالأسلحة الرشاشة حاجزا للشرطة الهندية في مدينة (سرينجر) بكشمير، حيث جرت اشتباكات هلك على إثرها جندي من الجيش وأصيب آخرون، وعاد المجاهدون إلى مواقعهم سالمين، ولله الحمد.

2018年6月17日カシミール・インド軍

عاجل

ولاية خراسان السبت 12 محرم 1440 هـ

أكثر من 100 قتيل وجريح من القوات الإيرانية في استعراض عسكري في الأحواز جنوب إيران

بعد التوكل على الله تعالى، انطلقت مفرزة من جنود الخلافة نحو استعراض عسكري لقوات "الباسيج" والجيش الإيراني و"الحرس الثوري" المرتدين في مدينة الأحواز جنوب إيران، فانغمسوا وسط جموعهم بالأسلحة الرشاشة، موقعين ما يزيد عن 40 قتيلًا و60 جريحاً، ولله الحمد والمِنَّة، ونقول للرافضة المشركين إنا أخذنا العهد على أن نثار لأهل السنة في العراق والشام واليمن وخراسان، وعمّا قريب ستحصدون نتاج طغيانكم، فتربصوا إنا معكم متربصون والقادم أدهى وأمر بعون الله.

2018年9月22日イラン軍事パレード

عاجل

ولاية خراسان 16 رجب 1439 هـ

هلاك 4 من النصارى المحاربين بعملية أمنية في مدينة كويته

بفضل الله وحده، تمكنت مفرزة أمنية من استهداف عدد من النصارى المحاربين أثناء مرورهم على طريق "شارمان" في مدينة كويته غربي باكستان، حيث أطلقوا عليهم النار بواسطة مسدس ما أسفر عن هلاك 4 منهم، ولله الحمد والمِنَّة.

2018年4月2日パキスタン・クウェッタ

8月26日、カブール国際空港付近で少なくとも2回の爆発が発生、少なくとも60名のアフガニスタン人、13名の米国兵が死亡し、140名以上が負傷。この事件に対し、テロ組織イスラーム国（IS）ホラーサーン県（アフガニスタン支部）が犯行声明を発表、同組織による自爆テロであると主張した。

<div><div> </div><div></div></div>
<p>160 人 قتيلا وجريحا من القوات الأمريكية وجواسيسهم بعملية استشهادية على تجمع لهم في محيط (مطار كابل)</p>
ولاية خراسان
<div>الخميس 17 محرم 1443 هـ</div>
<p>بتوفيق الله تعالى، تمكن الأخ الاستشهادي (عبد الرحمن اللوغري) -تقبله الله تعالى- من اختراق الحواجز الأمنية التي يفرضها الصليبيون والمرتدون حول مطار كابل، حيث انغمس بين تجمع كبير للقوات الأمريكية والمترجمين والجواسيس المتعاونين معهم عند (مخيم باران) في محيط (مطار كابل)، ثم فجر حزامه الناسف عليهم، ما أسفر عن سقوط نحو 160 قتيلًا وجريحا بينهم أكثر من 20 عنصرا من القوات الأمريكية، ولله الحمد على توفيقه.</p> <p>هذا وليعلم الصليبيون وأعدائهم أن جنود الخلافة ماضون في قتالهم حتى يقضي الله أمرا كان مفوعلا.</p>

IS犯行声明（8月26日）

<div><div> </div><div></div></div>
<p>فضل الله تعالى، استهدف جنود الخلافة مطار كابل الدولي، بستة صواريخ (كاتبوشا)، وكانت الإصابات محققة، ولله الحمد والمنة.</p>

IS犯行声明（8月30日）

もともとISはターリバーンを背教者と呼んできた。とくにターリバーンがシーア派に宥和的な態度を取りはじめたことなどを批判。

「ついに、彼らはムッター・ブラドレーを上げてきた！」

アフガニスタンで最近起きたことは目新しくもないし、不思議でもない。
ドーナでの米国とターリバーンの和平合意は陰謀であり、イスラームやジハードの勝利ではない。米国が

「新ターリバーン」を創造し、暴君たちもそれを支持してきた。

ターリバーンの指導者たちはカタルのホテルのなかからアフガニスタンの解放を宣言した。彼らの偽りの勝利は、イスラームに対する戦争の決定が行われたところからきている。米国はわれらのために「ムッター・ブラドレー」を創り出したのである。
実際、起きているのは、単にヒゲを剃った暴君を他のヒゲを生やしたものと交換しただけだ。
最初のものが対テロ戦争に失敗し、米国は第2のものをより効果的であろうと考えた。
カリフ国の兵士たちについていえば、彼らはジハードの新段階の準備をしている。

ターリバーンとイスラーム国

<p>الافتتاحية</p> <p>العدد ٣٠٠</p> <p>الموسم ١٠ محرم ١٤٤٣ هـ</p> <p>بسم الله الرحمن الرحيم</p>	<p>بنا</p>	<p>والعالية، فهل أخرجت أنوار طالبان بعد دخولنا نطق البلا؟</p> <p>وليس من قبل الصفة أن تكون كل الأطراف التي حاربت الدولة الإسلامية، هي نفسها الأطراف التي تشارك في الترويج لنموذج طالبان في نسخة قبل الألفية العُلمة في استروديهات الدولة. ومن المفارقات، أن الرثنين والمتناقض هموا الدولة الإسلامية بعد سيطرتها على بعض من العراق والشام، بالمتصلة لفريكا! وأن ما جرى "مشرقية وبؤامرة الفتنة".</p> <p>بينما شققت أفغانستان كوتبة"، بينما شققت أفغانستان بعواصمها ومقارها في غضون أيام دون أي قتال، ثم لا نسمع لنفس تلك الأصوات الشازي التي حدث عن "مشرقية" أو "مؤامرة" أو حتى "الفتا"، بل أصبح نصرا مؤزرا بمدحه القردتون وبطني عليه الديمقراطيون وبيقلبه الصليبيون. وأد شك الصليبيون أنهم تركوا البلا ان يقيم حكم الإسلام فيها، لما جعلوا فيها بيتا قائما وخلصوا طالبانها قبل مستقرتها.</p> <p>بل أن أمريكا لم تكتف نفسها حتى عنده سبيل لهُزيمة الدولة الإسلامية عسكريا دون معاريفتها فكريا، ولا شك أن الذين جاءت في سياق الاتفاقيات في حدود "التسليم والاستسلام" وليس بالفتا؛ إلا أن أطراف عديدة وعلى رأسها القاعدة والسرورية والإخوان المرتدون أبقوا إلا أن يكفوا السيناريو الأمريكي القطري بتسويز ما جرى على أنه "فتح وتكسين"! إن مفهوم النصر تعرض لتكسكات كبيرة في التاريخ المعاصر، تسببت بهذه التكسكات الأدوار والحركات المرتدة التي أصبحت تطلق النصر على كل ما يوافق أفرامها ويحقق مصالحها ولو كان كفرا وبتازلا، وصارت تطلق الهزيمة والشلل على كل ما يخالف أفرامها ولو كان توحيدا وراثيا، فصرل التوت في خلال التورعية فشلا؛ بينما العيش في أحضان التوافقية ووفقا لأهدافهم نصرا وتحرير.</p> <p>وكما تأمنا أحوال ومناجع المطيلين والمُرجّجين لنموذج "طالبان الجديدة" دنا يفينا بصحة الطريق الذي سلكته الدولة الإسلامية، فنصرة الإسلام وإقامة الشريعة، فنصرة الإسلام لا تضر غير فئاد قطر ولا سفارات روسيا والصين وإيران! وإن النصر الذي توقع عليه أمريكا وترعاه قطر وإعلامها، وتشارك السرورية والرجلة والإخوان له، نضر بمرهم.</p> <p>ومن زاوية أخرى، فإن بسطية طالبان على الحكم، تشققت كأذياب الممكئين للحكم الشرعية من القاعدة والإخوان وغيرهم كانوا يصطون طالبان بالرجعية سواء ودايس ودراب.</p>
<p>والعالية، فهل أخرجت أنوار طالبان بعد دخولنا نطق البلا؟</p> <p>وليس من قبل الصفة أن تكون كل الأطراف التي حاربت الدولة الإسلامية، هي نفسها الأطراف التي تشارك في الترويج لنموذج طالبان في نسخة قبل الألفية العُلمة في استروديهات الدولة. ومن المفارقات، أن الرثنين والمتناقض هموا الدولة الإسلامية بعد سيطرتها على بعض من العراق والشام، بالمتصلة لفريكا! وأن ما جرى "مشرقية وبؤامرة الفتنة".</p> <p>بينما شققت أفغانستان كوتبة"، بينما شققت أفغانستان بعواصمها ومقارها في غضون أيام دون أي قتال، ثم لا نسمع لنفس تلك الأصوات الشازي التي حدث عن "مشرقية" أو "مؤامرة" أو حتى "الفتا"، بل أصبح نصرا مؤزرا بمدحه القردتون وبطني عليه الديمقراطيون وبيقلبه الصليبيون. وأد شك الصليبيون أنهم تركوا البلا ان يقيم حكم الإسلام فيها، لما جعلوا فيها بيتا قائما وخلصوا طالبانها قبل مستقرتها.</p> <p>بل أن أمريكا لم تكتف نفسها حتى عنده سبيل لهُزيمة الدولة الإسلامية عسكريا دون معاريفتها فكريا، ولا شك أن الذين جاءت في سياق الاتفاقيات في حدود "التسليم والاستسلام" وليس بالفتا؛ إلا أن أطراف عديدة وعلى رأسها القاعدة والسرورية والإخوان المرتدون أبقوا إلا أن يكفوا السيناريو الأمريكي القطري بتسويز ما جرى على أنه "فتح وتكسين"! إن مفهوم النصر تعرض لتكسكات كبيرة في التاريخ المعاصر، تسببت بهذه التكسكات الأدوار والحركات المرتدة التي أصبحت تطلق النصر على كل ما يوافق أفرامها ويحقق مصالحها ولو كان كفرا وبتازلا، وصارت تطلق الهزيمة والشلل على كل ما يخالف أفرامها ولو كان توحيدا وراثيا، فصرل التوت في خلال التورعية فشلا؛ بينما العيش في أحضان التوافقية ووفقا لأهدافهم نصرا وتحرير.</p> <p>وكما تأمنا أحوال ومناجع المطيلين والمُرجّجين لنموذج "طالبان الجديدة" دنا يفينا بصحة الطريق الذي سلكته الدولة الإسلامية، فنصرة الإسلام وإقامة الشريعة، فنصرة الإسلام لا تضر غير فئاد قطر ولا سفارات روسيا والصين وإيران! وإن النصر الذي توقع عليه أمريكا وترعاه قطر وإعلامها، وتشارك السرورية والرجلة والإخوان له، نضر بمرهم.</p> <p>ومن زاوية أخرى، فإن بسطية طالبان على الحكم، تشققت كأذياب الممكئين للحكم الشرعية من القاعدة والإخوان وغيرهم كانوا يصطون طالبان بالرجعية سواء ودايس ودراب.</p>	<p>والعالية، فهل أخرجت أنوار طالبان بعد دخولنا نطق البلا؟</p> <p>وليس من قبل الصفة أن تكون كل الأطراف التي حاربت الدولة الإسلامية، هي نفسها الأطراف التي تشارك في الترويج لنموذج طالبان في نسخة قبل الألفية العُلمة في استروديهات الدولة. ومن المفارقات، أن الرثنين والمتناقض هموا الدولة الإسلامية بعد سيطرتها على بعض من العراق والشام، بالمتصلة لفريكا! وأن ما جرى "مشرقية وبؤامرة الفتنة".</p> <p>بينما شققت أفغانستان كوتبة"، بينما شققت أفغانستان بعواصمها ومقارها في غضون أيام دون أي قتال، ثم لا نسمع لنفس تلك الأصوات الشازي التي حدث عن "مشرقية" أو "مؤامرة" أو حتى "الفتا"، بل أصبح نصرا مؤزرا بمدحه القردتون وبطني عليه الديمقراطيون وبيقلبه الصليبيون. وأد شك الصليبيون أنهم تركوا البلا ان يقيم حكم الإسلام فيها، لما جعلوا فيها بيتا قائما وخلصوا طالبانها قبل مستقرتها.</p> <p>بل أن أمريكا لم تكتف نفسها حتى عنده سبيل لهُزيمة الدولة الإسلامية عسكريا دون معاريفتها فكريا، ولا شك أن الذين جاءت في سياق الاتفاقيات في حدود "التسليم والاستسلام" وليس بالفتا؛ إلا أن أطراف عديدة وعلى رأسها القاعدة والسرورية والإخوان المرتدون أبقوا إلا أن يكفوا السيناريو الأمريكي القطري بتسويز ما جرى على أنه "فتح وتكسين"! إن مفهوم النصر تعرض لتكسكات كبيرة في التاريخ المعاصر، تسببت بهذه التكسكات الأدوار والحركات المرتدة التي أصبحت تطلق النصر على كل ما يوافق أفرامها ويحقق مصالحها ولو كان كفرا وبتازلا، وصارت تطلق الهزيمة والشلل على كل ما يخالف أفرامها ولو كان توحيدا وراثيا، فصرل التوت في خلال التورعية فشلا؛ بينما العيش في أحضان التوافقية ووفقا لأهدافهم نصرا وتحرير.</p> <p>وكما تأمنا أحوال ومناجع المطيلين والمُرجّجين لنموذج "طالبان الجديدة" دنا يفينا بصحة الطريق الذي سلكته الدولة الإسلامية، فنصرة الإسلام وإقامة الشريعة، فنصرة الإسلام لا تضر غير فئاد قطر ولا سفارات روسيا والصين وإيران! وإن النصر الذي توقع عليه أمريكا وترعاه قطر وإعلامها، وتشارك السرورية والرجلة والإخوان له، نضر بمرهم.</p> <p>ومن زاوية أخرى، فإن بسطية طالبان على الحكم، تشققت كأذياب الممكئين للحكم الشرعية من القاعدة والإخوان وغيرهم كانوا يصطون طالبان بالرجعية سواء ودايس ودراب.</p>	

ナバア誌第300号

(2021年8月19日)

ナバア誌302号でも数ページにわたって大々的にアフガニスタンでの戦果を誇る。

- ターリバーンはアフガニスタンを統治できるか？
 - アフガニスタン人も英国人もロシア人も米国人も失敗
 - イスラーム法（シャリーア）による統治は可能？
 - 西側諸国に受け入れられるイスラームでは、コアの支持者の反発を買う恐れ
 - 流出する実務経験者、富裕層、国民の不信感を払拭できるか？
- ターリバーンは女性や少数派の人権を守るか？
 - 女性の教育・就労
 - シーア派（ハザーラ人）、少数民族
- アルカイダ等過激組織との関係を切れるか？
 - 旧軍がもっていた最新鋭の武器はどこに？
 - ザワーヒリーを差し出せるか？
- 「イスラーム国ホラーサーン県」を封じ込めるか？
 - 2人の「信徒の統率者」：ターリバーンのアフンドザード、ISのアブー・イブラーヒーム
- 国際社会から承認されるか？
 - 治安を重視するか？（中国・ロシア、欧米、アラブ諸国、イラン、トルコ）
 - 人権を重視するか？（欧米）
- 援助はいつ再開できるか？
 - 逼迫する財政：西側諸国、IMFは対アフガニスタン支援を停止・延期
- そもそも独り立ちできるのか？
 - アヘンに代わる輸出品を作れるか？
 - このまま国際社会からの支援に依存しつづけるのか？